

都市再生整備計画 事後評価シート

吉原地区

平成27年1月
静岡県 富士市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	富士市		地区名	吉原地区			面積	330ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	951.0百万円		国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業：依田原国道線、伝法原田線、左富士臨港線、国久保二丁目1号線、吉原勢子辻線外9路線 地域生活基盤施設：歴史案内板設置事業											
		提案事業	地域創造支援事業：まちづくりラジオ番組提供事業 事業活用調査：事業効果分析調査 まちづくり活動推進事業：つけナポリタン推進事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし		—				—					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業：臨港富士線 公園事業：吉原公園整備事業 地域生活基盤施設：(仮)吉原中央駅南自転車駐輪場		関連事業より移行 関連事業より移行 富士市自転車利用総合計画の位置づけられたことにより追加				影響なし					
提案事業		なし		—				—						
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	来街者数(平日・歩行者)	人/日	576	H21	576	H26	518	△			あり なし ●		
	指標2	商店街のにぎわいの創出に対する満足度	%	6.4	H21	7.0	H26	6.7	△			あり なし ●		
指標3	商店街へのアクセス性の満足度(道路の走りやすさ)	%	26.5	H21	29.0	H26	26.9	△	あり なし ●					
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み					
	その他の数値指標1	来街者数(休日・歩行者+自転車)	人/日	493	H21			511						
その他の数値指標2	商店街へのアクセス性の満足度(歩道の歩きやすさ・バリアフリーに対する満足度)	%	40.6	H21			59.9							
4) 定性的な効果発現状況	<p>交付期間の平成22年度～平成26年度には、以下のことから、まちのにぎわい再生につながる動きがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山世界文化遺産登録(平成25年6月)やB-1グランプリ初出場(平成23年11月)を機に、マスコミから市役所へのロケ地紹介や問合せが多く、富士山周辺や「富士つけナポリタン」がTV放映され、発祥の地である吉原商店街に観光客が訪れるようになった。 ・吉原バル(第1回：平成23年2月、以降6回まで開催：毎回約20-30店舗が出店)など、吉原地区での新たなイベントが始まった。 ・吉原商店街の西側にて、店舗面積が1000㎡を超える大規模小売店であるアピタのリニューアル(平成23年10月)、クロスガーデン<コープ、エディオン>(平成23年6月)のオープンがあった。 ・吉原の中心市街地及び商店街に多く点在する遊休不動産を活用した様々な事業を実施する富士山まちづくり会社の設立(平成25年6月)があった。 ・吉原祇園祭に和田八幡宮の氏子の参加が定着してきた。 													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	住民参加プロセス	「富士つけナポリタン」大志館スタッフミーティング		都市再生整備計画に記載し、実施できた ●									「富士つけナポリタン」の普及推進によるシティセールスや商店街と市民活動の中心となっている富士TMOタウンマネージメント吉原を引き続き支援する。	
		「ラジオエフ(ふじコミュニティエフエム)」富士市提供番組		都市再生整備計画に記載し、実施できた ●									市民自らが情報提供者となり、現在のまちの様子や歴史などの地域に密着したまちの魅力を発信する番組を支援する。	
	持続的なまちづくり体制の構築	富士市立高等学校ビジネス部チャレンジショップ「吉商本舗」		都市再生整備計画に記載し、実施できた ●									平成26年7月には10周年をむかえ、今後とも富士市立高等学校ビジネス部による「吉商本舗」の運営が見込まれる。	
吉原商店街振興組合「吉原宿一の市」		都市再生整備計画に記載し、実施できた ●									平成26年7月には第80回を開催し、今後とも吉原商店街振興組合による市民も出店できる「吉原宿一の市」の開催が見込まれる。			
吉原祇園祭実行委員会、吉原祇園青年長会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた ●									今後とも吉原祇園祭実行委員会と吉原祇園祭青年長会議による「吉原祇園祭」の準備・練習等を通じた世代を超えた交流が見込まれる。			

